

# H30不登校対応力向上研修(第1日)について

今年度の不登校力向上研修第1日では、作新学院大学 人間文化学部 准教授 ユ キョンラン 兪 幬蘭 先生にご講話いただき、演習・話し合いを交えながら「不登校の要因・背景の理解」について理解を深めることができました。組織的な対応を行っていくことの大切さや、保護者との連携のポイント等を分かりやすく具体的にお伝えいただいた研修の概要についてお知らせいたしますので、各校の不登校対策の参考にしてください。



ユ キョンラン  
兪 幬蘭 先生

作新学院大学 人間文化学部 准教授  
研究専門分野：臨床心理学，家族心理学，ブリーフセラピー  
～ その他にも多方面で活躍されています ～  
東日本大震災PTG支援機構 暮らしの相談室  
仙台市教育委員会 外国子女等協力者  
NPO法人メンタルコミュニケーションリサーチ相談員

## 不登校の類型

### 分離不安タイプ

#### 小学校低学年に多く見られるタイプ

- ・保護者の不安を軽減することが重要
- ・保護者の協力を得て付き添ってもらふことや、養護教諭やSCなどが、かわりを持つことが有効

### 家庭環境タイプ

#### 背景に家族の要因が指摘できるタイプ

- ①長期型（劣悪環境・溺愛・過剰期待）
- ②短期型（家庭環境の急激な変化）
- ・学校だけでは対応が困難な場合、民生委員や児童相談所など関係機関との連携を視野に入れる
- ・まずは安定した家庭環境が整っていることが重要
- ・保護者面談で現在の状況を正しく把握することが有効

### 良い子の息切れタイプ

#### すべての領域でうまくこなそうとするタイプ

#### （優等生、過剰適応、真面目、素直）

- ・まずは、無理に登校刺激を与えずに今までの頑張りを認めて、ゆっくりとかかわることが必要
- ・子どもの気持ちに寄り添う傾聴の姿勢が有効

### ドロップアウトタイプ

#### 内向消極型と外交積極型がある

- ①内向消極型（かかわりに消極的）
- ②外向積極型（かかわりに積極的）
- ・多様な生き方や価値感が認められ、社会の登校圧の減少によって増加している
- ・本人のできることや、社会参画のリソースを増やすことが有効
- ・反社会的、非行の問題を抱え、正当な価値に意味を見出せない
- ・自分の興味に積極的になれることや、仲間との信頼関係を生かすことが有効

### その他

- ①教員・学校との相性や、学校におけるトラウマ体験が存在するタイプ
- ②発達障がい、精神障がいなどが背景にあるタイプ などがある

☆ **多様な視点からのアセスメント、継続的な支援が必要であり、土台には、一人ひとりの子どもを「理解しようとする視点」が必要**

## 組織的な対応

- ・不登校を生じさせない、長引かせないためには、担任が一人で問題を抱え込まず、校内の教職員やSC、医療機関等の校外の専門家や専門機関を活用してチームによる支援を行い、早期解決、再発防止を徹底する必要がある。

### チームによる支援のプロセス

- ①チームによる支援の要請（担任）  
↓  
②アセスメントの実施  
↓  
③チームによる支援の計画  
↓  
④チームによる支援の実践  
↓  
⑤チームによる支援の評価  
↓  
⑥チームによる支援の終結

支援のありかた  
についての  
共通理解

協働して解決に  
取り組もうとする  
意識

校務分掌の明確化  
全校指導体制の確立

### 「PDSサイクル」

（計画：Plan，実施：Do，評価：See）  
を解決に至るまで繰り返す。

## 保護者との連携のポイント

- ①大人同士、それぞれの立場で知恵を絞り、子どものために助け合う
- ②保護者自身が傷ついていること、自責の念をもっていることを前提にかかわる
- ③不登校になってしまった原因の犯人探しをしないで、今できることを探す
- ④様々な家庭の状況や、多様な考え方をもちた保護者がいることを理解する
- ⑤保護者から教わる姿勢をもち、（子どものことを一番よく知っている）保護者の声に  
ていねいに耳を傾ける
- ⑥家庭内に「良い循環が形成されること」を保護者支援の目標とする

保護者が、子どもの「小さな改善」に

「気づき」→「認め」→「それを心底喜んでいることが」→「子どもに伝わる」ようにする

## ブリーフセラピーの立場

問題行動

悪循環

偽解決

### 問題が生じた場合…

- ・本人や家族は、問題を解決しようと、それぞれ善意で努力をしている。
- ・しかし、その行動がかえって問題を維持してしまう。

↓ 「上手いかないことは手放す勇気を持ち、対応を変える」

悪循環の解消のためには、「偽解決」行動をやめることが必要。  
例外を探し、良循環を促して例外行動を広げていく。

- ① 悪循環を振り返り、新たな行動・対処パターンをつくり出す… Do different
- ② たまたまできた例外（修学旅行や運動会の参加など）を探り広げていく… Do more